



広報 たちばな

第13号

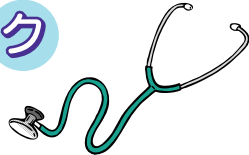
平成20年8月1日発行

(財)日本医療機能評価機構認定病院

橘 病院
整形外科専門病院
TACHIBANA HOSPITAL
<http://www.tachibana-hospital.jp>

ドクタートーク

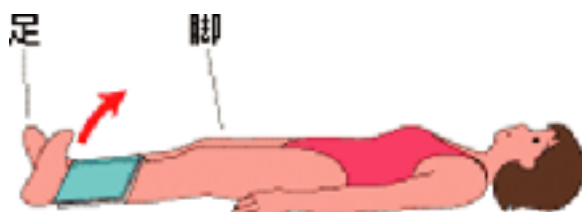
整形外科 吉川 教恵



みなさん、こんにちは。整形外科の吉川教恵(よしかわのりえ)です。平成16年から週に1~2回、非常勤で勤務していましたが、今年4月から常勤になりました。

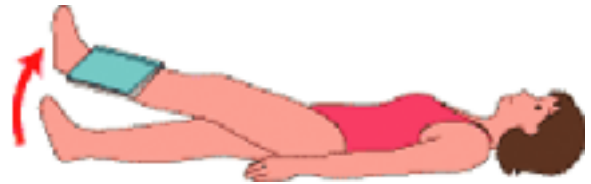
今回はみなさんに、大腿(ふともも)の筋力を鍛える訓練法を2つ紹介したいと思います。膝が痛くて病院にかかり、『変形性膝関節症』の診断をうけ、「筋力を鍛えた方がいいですよ」と言われたことはありませんか? 「筋力を鍛えろ」と言われても、どうするかわからない方もたくさんいらっしゃるでしょうし、本当はリハビリに通って筋力をつけたいけれど、自宅が遠くて通院が出来ない方もいらっしゃるでしょう。そんな方のため、また、病院でリハビリをされている方が自宅でも訓練を続けるための方法です。イラストでは足に本を乗せて負荷をかけていますが、最初はその必要はありません。

1)パテラセティング(パテラとは膝のおさらのことです) まず、リラックスしてまっすぐ仰向けに寝ます。おさを床に押さえつけるような気持ちで足の指をそらし、膝に力をいれます。この時、ふとももを触ると力を入れていない時に比べ硬くなっていたら、うまく出来ている証拠です。ぐーっと力をいれて2、3秒したら、力を抜きます。これを30回くりかえします。



2)SLR(足あげ訓練)パテラセティングと同様に、仰向けに寝ます。膝を伸ばした状態で約20cm足をあげ

ます(あげ過ぎないのがコツです)。この状態で呼吸に合わせてゆっくり20数えてください。そして、ゆっくり足をおろします。これを20回くりかえします。もし、可能であれば、もっとたくさんしてもかまいません。



このパテラセティングとSLRを1日2回行いましょう。最初は、回数がこなせないかもしれませんが、毎日こつこつ頑張る事が大事ですので、回数を少し減らしてでも頑張ってみてください。

婦長さん・主任さん

3階病棟
看護主任 鶴野 京子

皆様、こんにちは。

私は、平成17年11月に橘病院に就職してから2年半になり、現在は3階病棟の主任をさせて頂いている鶴野京子です。もともとはのんびりとした性格で、その上に長い間小さな医院で働いていたせいかいろんな事が苦手になっており、今でも悪戦苦闘の毎日で落ち込んだりもします。そんな時は患者様の暖かい声かけにいつも励まされ助けられ頑張っています。その分、私も患者様皆様が安心・安全・安楽に入院生活が送れますよう、少しでもお手伝い出来ますように努力していきますので、よろしくお願い致します。



ご質問・ご用件のある時は気軽に声をかけてお聞かせ下さい。

リハビリテーション科だより

病気によりさまざまな障害を持った状況から、早期に家庭復帰を図るためにはリハビリテーションがとても重要です。当院は、理学療法士・作業療法士を有効に配置しています。病棟との連携のもと、専属の担当が、患者様一人一人の障害や状態に合わせた積極的なリハビリテーションを提供しています。

当院の特徴として、回復期リハビリテーション病棟を兼ね備えた病院であることです。回復期リハビリテーション病棟とはリハビリを専門とする病棟です。専門の医師・看護師・理学療法士・作業療法士が共同で作成したリハビリテーションプログラムを元に、リハビリテーションを集中的に行います。従来の訓練室での機能訓練のみではなく、退院後の自宅でのより質の高い生活の構築のために、病室や病棟での活動性の向上を目指したリハビリテーションを実施しています。最後に、本年度より、病棟の増設に伴い、リハビリ室も約二倍の広さで500平方メートルになりました。また、新たに理学療法士6名の増員により、理学療法士13名、作業療法士2名の合計15名体制となり、益々充実したリハビリテーションのご提供をさせていただきたいと思っております。



新棟が完成しました。

食堂からの風景



市内が展望できる食堂



食堂からの風景



ゆとりある個室



リハビリ室



スペース充分な廊下



受付



あたらしい橘病院の玄関

6階	オール電化の厨房と見晴らしの良い食堂です。
5階	管理棟です。
4階	リハビリ訓練室がゆとりある広さになりました。
3階	ゆとりのある明るい個室の病室です。
2階	ゆとりのある明るい個室の病室です。
1階	受付、待合コーナー、診察室、事務室が新しくなりました。

通所リハビリテーション たちばな

平成20年7月21日より、通所リハビリを開業いたしました。
場所は、郵便局側出入口からはいられて、左手奥にあります。

【通所リハビリとは・・・】

理学(作業)療法・その他のリハビリテーション等を提供するサービスです。
利用者様の身体や精神機能の維持回復を図り、
御家族様の負担を軽減する事を目的としています。
※要支援、要介護度をお持ちの方が対象です。

利用時間

午前の部 9:00～12:30
午後の部 13:30～17:00

← 当院では午前の部・午後の部
各3～4時間程度実施しています。

通所リハビリの流れ

健康チェックをします。

血圧や体温を測り、日々の
体調確認をします。

痛みを取り除きます。

テレビで話題のWiiで
す。みんなで楽しく遊
び感覚で、運動・リハビ
リ・ダイエットなど行
うことができます。



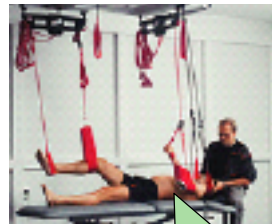
SSP



ウォーターベッド



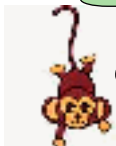
ヘルストロン



スリング



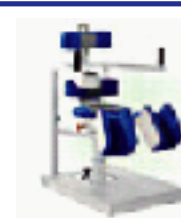
Wii



きもちいいよー！

運動をします。

ウォーター
エルゴ



パワーリハビリ

個別リハビリ

- ★リハビリスタッフが動作・歩行をチェックして、その人に合った運動を1対1で行います。
- ★体にやさしい動き方のアドバイスをします。
- ★日常での難しい動作ができるように練習していきます。



みんなで元気に
がんばろー



通所リハの
部屋の様子



通所リハスタッフにお気軽にご相談ください。 通所リハスタッフ 小八重・椎葉

アメリカ生活 ⑦ (前回のつづき)

子供のころから歯医者さんが大の苦手で、歯科の看板を見るだけで足が止まるくらいの恐怖心がありました。学生のとさし歯のスパイクで前歯を損傷し、数本がさし歯でしたが、試合のたびに折れたり、はずれたりして恐怖の歯科との縁が続いていました。研修医のときにも虫歯で治療が必要と言われていましたが、可能な限り受診を避けていました。

留学の計画が進行していく中、先輩にさまざまな情報をいただきましたが、その話の中で「アメリカの歯医者には怖ええぞ」と言われました。エイズに感染した歯科医が、患者さんに自分の血液を麻酔に混ぜて注射して、多数の感染者を出した事件を詳細に話してくれたり、日本の歯科と違ってレベルが低いとか、保険がきかないのでやたら高いとか……。思ってもいなかった留学の問題点でしたが、決死の思いで歯科通院を開始し、時間の合間に治療を行いました。虫歯だけでなく、知覚過敏とか、部分欠損、さし歯のやりなおしなど全て完了するのに10ヶ月ぐらいかかり、かなりぐったりとなりましたが、これでアメリカの恐ろしい歯科医に会うこともないと確信したのでした。

歯のことなんかすっかり忘れて研究に夢中だったある日研究室で、一瞬さし歯の前歯がぐらつくような感じがしてドキッとしました。完璧な治療をしたばかりで問題が起こることはないと考えながらもしばらく物が触れないようにしていました。ところが数日後、なんとさし歯がはずれてしまいました。「まさかまさか、ま・さ・か」のできごとに啞然としました。ここは恐怖のアメリカ歯科医の町です。ただ、はずれたのをつけるだけだからたいしたことはないかと言いつつ聞かせ、決死の覚悟で受診しました。研究室の仲間が薦めるところだけあって、きちんとした設備と説明もわかりやすく、不安は徐々にうすれていました。しかし問診表の英語がやたら難しく、特に保険関係の部分は、その場で読み取るの

は困難でした。身分証明書と、クレジットカードを提示しなるとか書類が受け付けられようやく診察が始まりました。50過ぎの大きな歯科医はみるからに恐ろしく、なんといつても口に迫ってくる大きな手は、歯医者嫌いの僕にはホラー映画の一シーンのように恐ろしいものでした。さらに、これまでの日本の歯科医と違って瞬間的に器用ではないと感じました。ただ取り付けるだけなのに歯の方向や、固定具合を何度も調整し、やっと接着しましたが、噛み合いはあっていませんでした。あわない部分をまたけずり完全ではないものようやくまずまずの状態になり終了。もうここには次は絶対にこないと思いながら、支払いました。いくらだったと思います？500ドル(5万円)。通常どのくらいかもわからないし、問診のときに保険に関する英文も読み取れなかったので言いなりになるしかない情けない話でした。

半年後、次の研究室に移りデータ作製に集中していたある日、またしても、一瞬さし歯の前歯がぐらつくような感じがしてドキッとしました。あの歯科医の接着剤ならいつ取れてもおかしくないものの、そう短期間にはないだろうと思ってました。もう歯医者には行きたくないと思えるような気持ちの中で、数日後「まさかまさか、ま・さ・か」のできごとにガクリと肩を落としてしまったのでした。

つづく

柏木 輝行





『入院日記』人工股関節手術

河野 京子

私は、手術をしないですむ方法での入院を選択しました。ドクターは、手術をした方が良いとお考えだったので、私の気持ちをくんで下さり、保存療法での入院となりました。リハビリ中、実際に手術をされた患者さんと会話をしました。手術をして痛みがなくなったとか、もう片方も手術の予約をしたよ。車の運転も出来るようになった。皆さん(病院仲間)は、笑顔で私に教えてくれました。私も早く治って歩きたいと思い、手術を決意しました。手術後不安いっぱいの方に家族や仕事仲間からのやさしい言葉、先生や看護師さんの手厚い看護で支えてもらい、心も足もすっかり元気になりました。

術後3ヶ月目、今は仕事にも復帰して頑張っています。1週間に2~3回はプールでのリハビリ、朝は、毎日ラジオ体操で、今日も元気です。



『2回目の膝関節の手術を受けて』

下鶴 末子

私は、55歳ぐらいから膝の痛みに悩んでいました。その当時は、看護助手の仕事をしており、職場では皆に迷惑をかける訳にもいかず我慢して仕事を続けていました。57歳の時に朝、突然歩けなくなり、都城市内の病院で数件診察してもらいました。結果は、両膝変形性関節症でした。紹介状を書いて貰い宮崎医科大学で、両膝の手術をして貰いました。その時に手術を担当して頂いたのが柏木先生でした。先生のお陰で定年まで看護助手の仕事が続けられました。

手術後11年経った昨年、膝の調子が悪く、定期検診を医科大で受けました。その時の先生が、橘病院の柏木先生に相談してみたらと言われました。家に帰って家族に相談したら、柏木先生だったら手術した方が良いとの結論がでました。家族も医科大の時に先生の説明が親切丁寧で、手術後の日々の生活が支障なく出来ることに感謝の気持ちでいっぱいでした。今回の手術も柏木先生でよかったのと、病院のスタッフの皆様の優しさ親切心に心から感謝致します。このような病院が身近にあることに患者の立場から心強いです。橘病院のご発展を心よりお祈り致します。

標語

3月 ☆気のゆるみ それから起こる 大きなミス
 4月 ☆全職員の 協力と信頼でつくる 安全風土
 5月 ☆ちょっと待て! 思い込みが 事故の元
 6月 ☆笑顔であいさつすれば 自分も患者様も癒される
 7月 ☆仕事を始める前に 確認を
 川柳 ☆堪え難きを堪え 忍び難きを忍び
 這いつくばって 昭和人生く 大平白沙

橘病院の理念(私たちがめざすこと)

当院は「医療の質の向上」を追求し、患者様(家族)と職員・スタッフがともに「心ゆたか」になれる病院を目指します。

患者様の1日も早い社会復帰(家庭、就労、就学など)を願い、地域住民から安心され、信頼され、共感を得られる病院づくりを目指します。

広報委員

新留 ひとみ・森山 善子・連城 幸枝・中村 みゆき・池之上 浩紀・今西 由紀子・山元 加代子・山下 みさ子・増田 真樹・山口 光生・小川 達矢・野口 勇樹・椎葉 まさみ・園木 望水・和田 麻衣・井之上 綾・藤野 八百子



防災訓練

平成20年4月24日(木)
 当院で防災訓練を行いました。



●皆さんから何か疑問に思われることやご質問があれば、当院の医師、看護師、理学療法士、栄養士、薬剤師、放射線技師、事務員がお答えいたしますので文書や口頭、メールでかまいません。お寄せください。
 (メールアドレス info@tachibana-hospital.jp)

院内研修会

2008年4月12日(土) 「接遇」について院内研修会

参加者 71名

(職員アンケートより)

- 組織の一員として、責任ある仕事をしようと思った。
- 普段より意識することが大事だと思う。
- きちんとした個人の評価をして、フィードバックできるシステム作りが必要だと思う。

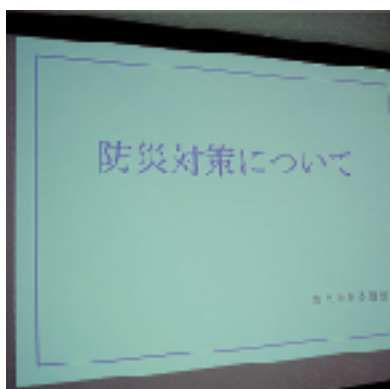


2008年4月19日(土) 「防災」について院内研修会

参加者 61名

(職員アンケートより)

- 訓練でも真剣な態度で行う体制づくりが必要。
- 自分の担当を再認識しておきたい。
- 緊急災害時の各自の役割分担を日頃より確認することが重要だと思う。
- 初期消火の方法は良くわかった。その他の行動(救出や救護など)も具体的に説明してほしい。



ご意見箱の設置について

当院では、より質の高い医療サービスをご提供できるよう、また、ご来院いただいた皆様にご満足いただける病院づくりのため、皆様からのご意見、ご要望、苦情をお聞かせいただく『ご意見箱』を設置しています。

ご意見用紙は担当者が回収し、いただいたご意見につきましては、理事長、院長、各所属長が拝読し、改善すべき点については、業務改善委員会で“患者様に

満足して頂く為にどうすれば良いのか？”どのように改善すべきか？”などを検討し、結果を全職員に周知させています。

用紙とボールペンを備えてあります。

職員の接遇、診療などに関する事、その他何でも結構ですので、どうぞ、お気づきの点や感じたことをお書きになり、ご投稿をよろしくお願いたします。



ご意見箱設置場所

- 1階公衆電話横
- 1階診療室前
- 2階浴室前談話室
- 3階浴室前談話室



の4か所に『ご意見箱』を設置し、外来患者さん、ご入院されている患者さん、及びご家族の方をはじめとし、ご来院いただきました皆様より様々なご意見をいただいております。